ドライブレコーダー

目　次

目次項目をクリックで該当ページにジャンプできます

安全上のご注意…… 1
構成部品…… 11
各部の名称とはたらき…… 13
取り付け手順…… 14
全体の取り付け一覧…… 14
本体の取り付け…… 14
メモリーカードをフォーマットする…… 17
メモリーカードについて…… 17
タッチスクリーンのご案内…… 18
メニュー設定…… 19
故障かなと思ったら…… 28
本体仕様…… 30
バックカメラ仕様…… 32

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

・表示を無視して 誤った使い方をして 時に生じる危害や損害の程度を区別して 、説明しています。

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守り頂く内容の種類を絵記号で区別しで説明して います。

⚠	注意（しなければならない）内容です。
⃠	禁止（してはいけない）内容です。
ⓘ	実行（必ず行っていただく）内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合又はこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一 切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したものは 個人として楽しむほかは 著作権法上、権利者に無断で使用できません。

・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵リチウム電池について

⚠ 危険

⚠	**本体（内蔵電池）の取扱に注意する** 本体は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。 **・分解・改造しない** **・加熱したり、火の中にいれたりしない** **・ダッシュボードなど直射入日光の強ところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない** 内蔵電池が発熱、破裂、発火、液漏れをし、火災やけがの原因となります。

⚠	**内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する** 本体の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。 **・内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れない** **・内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない** **・内蔵電池のコネクタに絶縁テー プをはる** 発熱、破裂、発火、液もれをし火災やケガの原因となります。

⚠ 警告

⚠	**内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する** 本体の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。 **・内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない** **・内蔵電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける** けがや事故の原因となります。

⚠ 警告

⚠	**本体は DC12V/24V0 アー ス車以外で使用しない** 火災や故障の原因になります。DC12V/24V0⊖アース車以外で使用しないでください。 **エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けと配線をしない** エアバッグが誤動作し死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。 **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレー キ、タンクなど）ボルトやナットを絶対に使用しない** 交通事故やケガの原因となります。 **視界や運転操作を妨げる場所、同情者に危険を及ぼす場所には取り付けない** 交通事故やケガの原因となります。 **本体は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない** 視界不良や本体が外れて、事故の原因となります。
!	**取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する** 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順通りに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように配線する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・敗戦後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、
火災や交通事故の原因となります。

!	**ねじなど小物部品やメモリカードは乳幼児の手の届かないところに置く** 誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。 **本体に付属のシガープラグコードを使用する** 付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。 **シガープラグは確実に差し込む** 確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。 **シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く** コードが破損し火災、感電の原因となります。 **使用後または長時間使用しない時は、シガープラグを抜く** 車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。 **シガープラグは定期的に清掃する** ほこりが付着していると火災の原因となります。
	濡れた手でシガープラグを抜き差ししない 感電の原因となります。

⚠注意

🚫	**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない** 水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。 **機器の通風口や放熱板をふさがない** 機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
⚠	**コードの扱いに注意する** コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

🔧	**分解・修理及び改造はしない** 分解・修理、改造、コードの被覆を切ってほかの機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
🚫	**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない** 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。 **機器内部に、水や異物を入れない** 金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。 飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

	故障や異常な状態のままで使用しない 画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音、異臭がする場合は、直ちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。 **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりじない** 必ず安全な場所に車を停車しサイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
	雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない 雷による感電の原因となります。

⚠ 注意

	本体を車載用以外で使用しない 発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。 **本体を可燃性ガスの多い環境では使用しない** 爆発や火災の原因となります。
	走行前に本体の取り付け状態を点検する 本体の脱落、落下などにより、けがや交通事故の原因となることがあります。

・本体を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
・本体を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの追随的損害について弊社は一切の責任を負いません。
・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本体の仕様及び外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形。

液晶パネル部に調する注意

・走行中は、必ず同乗者が操作を行うか、車両を停車してから操作を行ってください。
・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。予めご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。
周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。予めご了承ください。
・太陽などの高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

撮影された映像について

・本体は広角レンズを使用しているため、映像の一部のゆがみや、影が生じることがあります。
これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

⚠	**低温環境での動作について** 極端な低温環境では正常に電源 ON しない場合があります。このような場合は、あらかじめ USB ジャックのコードを抜き、ヒーターで車内が温まってから USB ジャックのコードを接続してご使用ください。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

!	**異常が起きた場合は直ちに使用を中止し、必ず販売店のサービス窓口に相談する** そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

!	**落下したら使用を中止する** 機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、 使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

構成部品

ミラーモニター
・9.88 インチの LCD タッチパネルモニター
・1080P のフロントカメラ付

GPS モジュール
・高精度かつ安定的な
GPS 測位信号を提供できます

シガーチャージャー
・差し込んでから使用
・12V を 5V に変換し電源を
即時供給できます

バックカメラ
・解像度 1080P
・140°（対角線）
・IP67 防水構造
・デジタル高解像度処理センサー

延長ケーブル

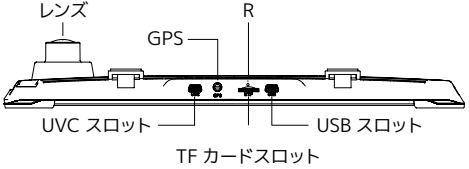
クリーニングクロス

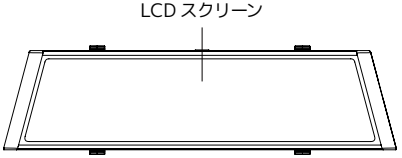
カメラ取付パーツ

本体取付バンド

各部の名称とはたらき

本体の基本的な操作方法について記載しています。

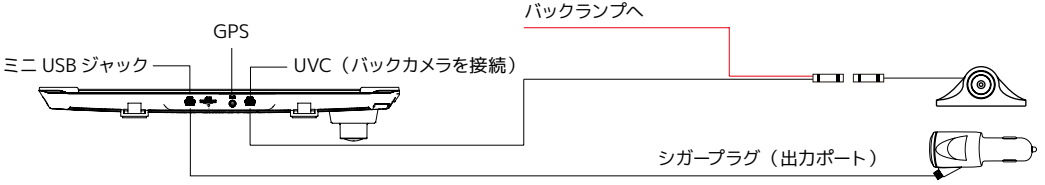




LCD スクリーン：9.88 インチの LCD スクリーン
レンズ：1080P のフロントカメラレンズ
UVC スロット：バックカメラと接続
GPS スロット：GPS モジュールと接続
TF カードスロット：class10・32GB の microSD カード推奨
USB スロット：ミニ USB ジャック、シガーチャージャーと接続
R：リセットボタン

取り付けて順

全体の取り付け



本体の取り付け

1. 車が水平な場所に駐車していることを確認します。エンジンを OFF にします。

2. 本体を元から付いているルームミラーに挟み込み、取り付け角度を調整してください。

※純正ルームミラーに強い荷重が加わらないよう、手で純正ルームミラーをしっかりと支えて取り付けてください。

※車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車両など）では、純正ルームミラーを破壊する恐れがあります。

※ミラーの角度調整を行うときは、本体を持って行うと外れてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って行ってください。

3. 同梱品の SV シガープラグを本体の miniUSB ジャックとシガーソケットに差し込みます。

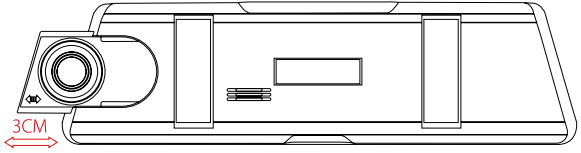
ご注意：

1. 本体の動作電源電圧は 5V、1.5A です。本体の正常運作のため、付属しているシガープラグを利用してください。

2．もし製品取り付け後に揺れる場合がございましたら、製品をしっかり固定できるまでバンドを調整してください。

※バンドを調整する時は元ミラーを壊さないよう注意してください。

3．レンズ部にあるプラスチック板は右へ 3cm ぐらいの調整ができます。最適な距離を調整してください。



メモリーカードをフォーマットする

メモリカードを使用するときは初めに本体でフォーマット（初期化）します。

本体の電源 ON にしてから、自動的にメモリーカードを「フォーマット」の表示画面を表示し、「はい」をタッチしてフォーマットしてください。

注意：毎週一回のメモリーカードのフォーマットすることをお勧めします。

※フォーマットする前に重要な資料を事前にコピー保存してください。

メモリーカードについて

・メモリーカードは、分解したり改造を行わないでください。

・メモリーカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。

・メモリーカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。

・メモリーカード内の重要なファイルは必ず PC などにバックアップ（コピー）をしてください。

・メモリーカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。

タッチスクリーンのご案内

スクリーンセーバー：運転モードにタッチして 2 秒以上タッチして閉じる

メニュー設定　　：各メニューの設定設置ができます。

ビデオ／写真の再生：チェックしたいビデオ／写真の再生ができます。

録画の開始と停止　：前後録画の開始と停止の選択ができます。

前後画像の切替　　：前後カメラの画像の切り替えができます。

写真撮影　　：撮りたい瞬間の写真撮影ができます。

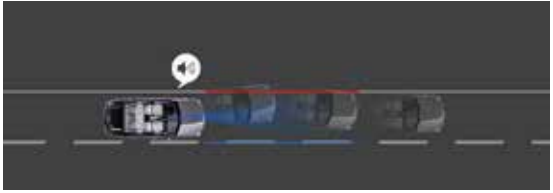
緊急ロック　　：ロックしたい録画はこのボタンを押すと、上書きされずロック録画ファイルに保存されます。

＊無操作の 10 秒後、自動的に画面を暗なり画面の各アイコンが隠れます。

メニュー設定

メモリーカード

microSD カードの空き容量のチェックと SD カードの初期化ができます。



車線逸脱警報システム
ここでは車線逸脱警報装置を設定することができます。
オンにすると、走行している車線を検出し走行車線を逸脱していると判断された場合、警報音を発します。
居眠り運転や対向車線へのはみ出しなどによる車のふらつきを未然に防ぐことができます。
初期設定は「オフ」です。

スピード
界面の車のスピー ド表示は mph /kmh の選択ができます。

走行モード
デフォルト設置の場合、画面表示されるのはリアカメラの映像で、フロントカメラの映像に切り替えたい場合は ⇋ を押してください。

日付と時間
ここで日付と時間の設定ができます。
日付と時間の設定の手順は下記の二つ方法があります。

1．GPS 自動設定時間をオンにする
　自動日付時間の更新の前提は、GPS モジュールの装着と下記の「GPS 自動設定時間」のボタンをオンすることでできます。
　そして、下記の「タイムゾーンを設定する」を設定してください。
　＊日本標準時またはタイムゾーンは「UTC+09:00」です。（ウィキペディアの調査による）

＊GPS 信号の強度または詳しい情報をここでチェックすることができます。

2．手動設定

もし GPS 自動設定時間をオンにする場合、まずオフにしてください。
そして、下記のような手動で日付と時間の設定ができます。

動画モード
録画画像の画質設定ができます。「1296p」「1080p」からの画質設定ができます。初期設定は「1080p」です。

録画時長
録画（前後）の時間長さの設定です。「1 分」「2 分」「3 分」を設定することができます。初期設定は「1 分」です。

G センサー
G センサー内蔵で衝撃、加速、減速を感知し、事故当時の映像及び情報をロック保存します。
・感度値は低／オフ／高の選択ができます。高いほど敏感に反応します。

注意：感度値が高くなるほど、敏感に反応し、走行中の車が少しの揺れもイベント記録としてファイルをロックされます。
ロックされるファイルが多くなると、上書きすることができなくなって、SD カードの記録用容量が少なくなります。予めご了承ください。

駐車監視
電源オフの場合、衝撃を受けた後録画するかどうかを選択することできます。
駐車モード機能「低」「オフ」「高」を設定することができます。
注意：走行時にはこの機能をオフすることをお勧めします。この機能を発揮するためには配線キットが必要です。

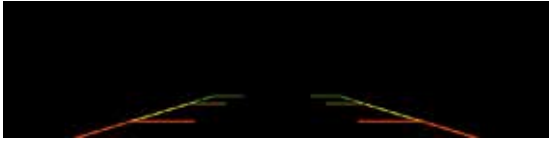
音量
本機またはメニューボタンを操作時の操作音の音量です。
「低」「中」「高」の選択ができます。

明るさ
スクリーン画面の明るさの調整。
手動での場合、本体を直接タッチし左右にスライドすることで、画面の明るさを調整することができます。
自動での場合、周囲環境の光度による本機が自動的に画面の明るさを調整します。

録音
音声記録の設定。
音声記録したい場合は、「オン」のボタンを選択してください。初期設定は「オフ」です。

言語
日本語、英語、韓国語、ドイツ語、フランス語などの選択ができます。本機の表示文字を上記の言語に設定することができます。

ガイドライン
ガイドラインを表示したい場合、「オン」設定にしてください。



GPS 位置情報
緯度と経度、スピード／コースなどの GPS についての詳しい位置情報をチェックできます。

バージョン
本機のバージョンや製品モデルなどの詳しい情報が表示します。

設定のリセット
すべての設定を工場出荷時の設定に戻ります。

動画／画像の再生

ここで保存されたのは常時録画、緊急録画、写真です。
再生したい録画／画像を選択して、右にある再生ボタン ▶ を押すことで録画の再生ができます。
「く」を押すと、再生画面から離れます。

常時録画：ファイル A という録画はフロントカメラで録画した動画で、ファイル B はリアカメラで録画した動画です。
例えば：上の M0028A.MOV はフロントカメラでの録画で、M0028B はリアカメラでの録画です。

緊急録画：衝撃またはロックされた動画はここに保存されています。
画像：写真撮影した画像はここに保存されています。
＊録画または画像を再生する時、画面の録画ボタン ■ を押し、録画中止してください。

録画の削除と保護

ロック／削除したい常時動画を 1、2 秒を長押し、上記のロックまたは削除のボタンが表示されたら、
OK ボタンを押すと、動画のロックまたは削除ができます。
＊ロックされた録画は緊急録画に保存されています。
※削除した録画は回復できないため、あらかじめご了承ください。

故障かなと思ったら

❶ 電源の問題

1. 本体が自動／手動に ON しない
2. 本体が定期的に ON/OFF する

対処方法

1. USB ジャックが緩むかどうか、電源コードを正確に接続するかどうかをご確認ください。
2. 車のシガーソケットは清潔かどうか、腐食していないかどうかをご確認ください。
3. 電源コードのシガープラグを確実にシガーライターに差し込む、青ランプが点灯するかどうかをご確認ください。
4. 使用する前、外部電源を使用して本体を 2 時間ぐらい充電してください。

❷ メモリーカードの問題

1. 「フォーマットエラー」「SD カードを挿入してください」「SD カードをフォーマットしてください」「SD カードエラー」などの文字が表示される
2. 常時録画できない
3. 本体が動作できない
4. 写真／映像を保存できない
5. 本機がフリーズ
6. 記録が自動的に停止する

対処方法

1. SD カードは正しく挿入されているかをご確認ください。
2. SD カードのファイルシステムは FAT32、最大容量は 32GB かご確認ください。

3. 本体で SD カードをフォーマットしてください。
4. SD カードには書き込み回数の上限があります。長期間（製品の使用頻度により半年から一年以上）使用した場合は、新しい SD カードと交換してください。
5. 電源供給が不安定な場合、SD カードに正常にデータを保存できないことがあります。電源コードをご確認ください。

❸ 写真撮影できない

対処方法

1. TF カードが挿入しているかの確認です。
2. TF カードの class が低い場合、class10 に交換するのがお勧めです。
3. TF カードの破損による恐れがあり、一旦カードを交換してください。

❹ 本機で動画の再生ができない

対処方法

1. パソコンでファイルまたは録画の名称が変更または修正してないかご確認してください。
2. パソコンの後期修正、あるいは本機で撮影していない動画の場合は本機で正常に再生できない場合がございます、あらかじめご了承ください。
3. TF カードの破損による恐れがあります。

❺ 自動的に本機をオン／オフできない

対処方法

1. 給電方式は常時電源あるいは ACC かの確認です。（常時電源の場合は手動本機をオンにしてください。）
2. 電源ケーブルの接続が正常な場合、シガーチャージまたは電源ケーブルを一旦抜き、手動本機をオン／オフすることができるかの確認。
3. 本機を設定リセットまたはリセットボタンを押してください。

本体仕様

スクリーン	9.88″ IPS 液晶タッチパネル
レンズ	F2.2　140°広角レンズ、400 百万画素
解像度	1080p
COMS センサー	JX-F22
ビデオ	H264　1080p@30fps＋720P@25fps
ファイル形式	静止画：JPG　動画：MOV
車線逸脱警報	サポート
G センサー	サポート
GPS 測位	サポート
写真撮影	サポート

バックカメラ	カメラサポート
駐車監視	サポート
再生	サポート
音声記録	サポート
常時録画	1 分、2 分、3 分の設定ができます
記録媒体	32GB、class10、FAT32 の TF カードがお勧め（カードは付属しておりません）
動作温度範囲	-20℃～＋70℃
保存温度範囲	-40℃～＋80℃
電源電圧	DC5V-5.SV
本体サイズ	277(W)X77(H)X21(D)mm（突起部含まず）
バッテリー	リチウムポリマー電池内蔵

これらの仕様及びデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

バックカメラ仕様

イメージデバイス	1/3 インチカラー	センサー	COMS IMX225
F 値	F1.5	電源電圧	5V
画素	123 万　1280×960	防水構造	IP68
視野角	(D/H/V):117°/ 100°/54°	動作温度範囲	－25 ～＋70℃
サイズ	59.7(L)x35.5(W)x22.6(H)	画角	140°（対角線）
レンズタイプ	固定焦点レンズ	WDR 機能	多重露出